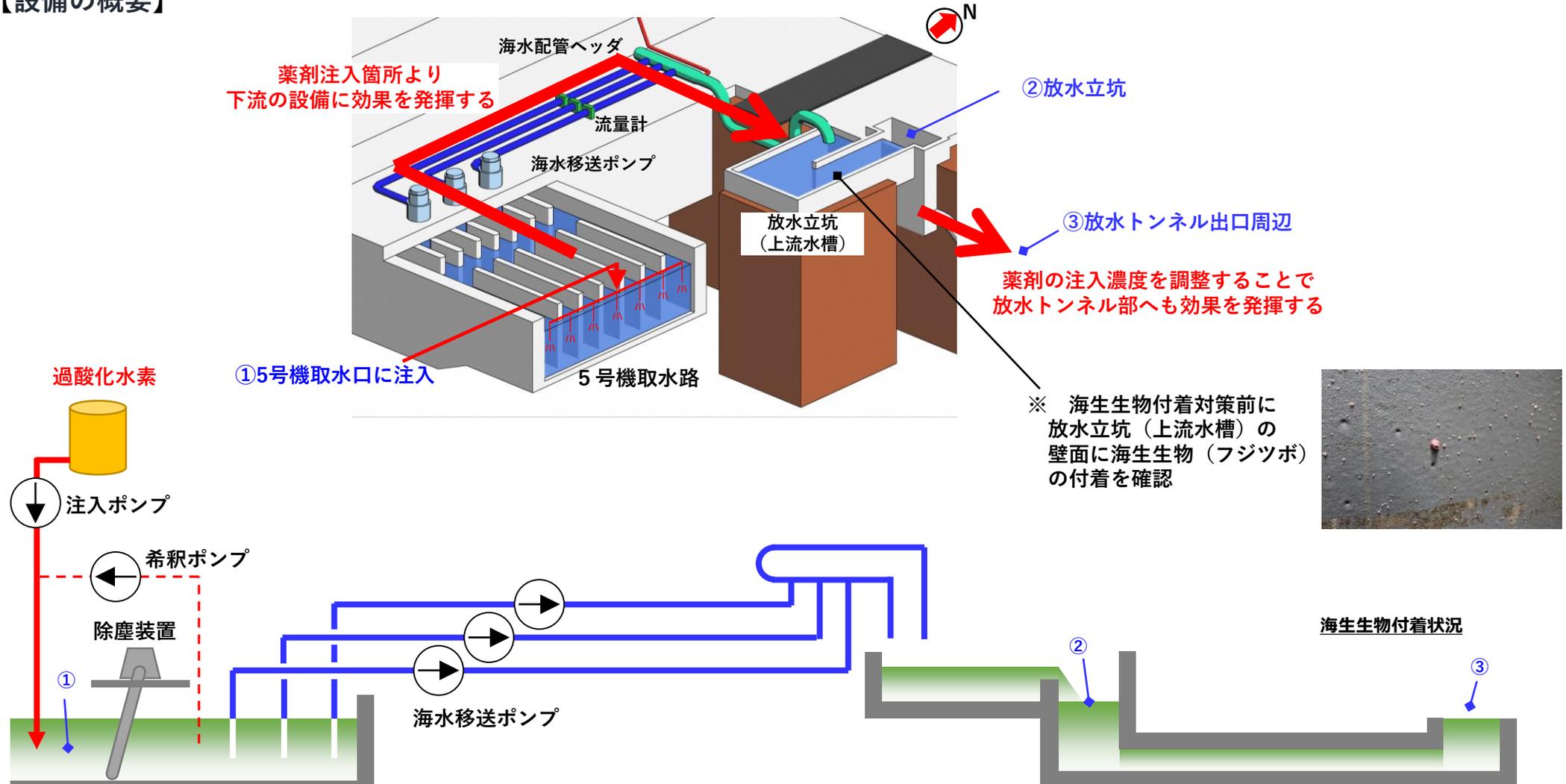


希釈・放水設備における海生生物防止対策関連設備

5号機取水路に薬剤（シェルノン^{※1}、45%過酸化水素 H₂O₂水）を注入することで、希釈・放水設備への海生生物の付着を防止します。

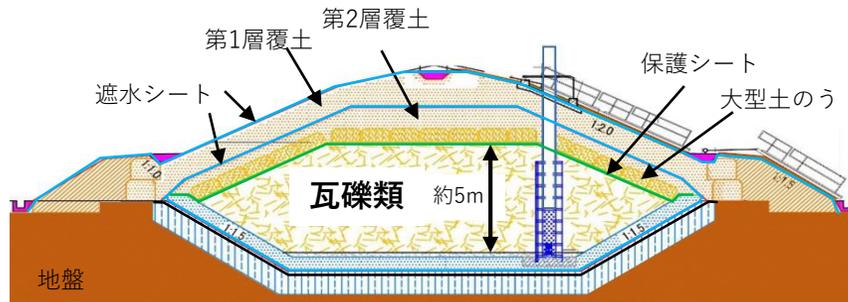
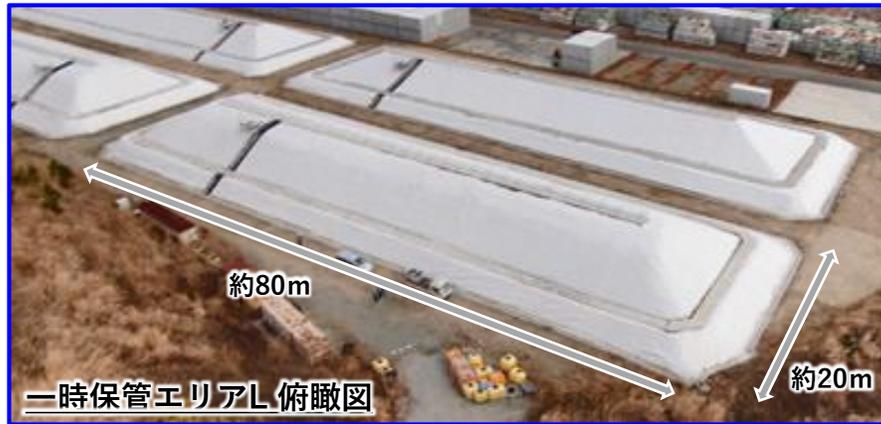
※1 シェルノンは、片山ナルコ株式会社の商品名です。

【設備の概要】

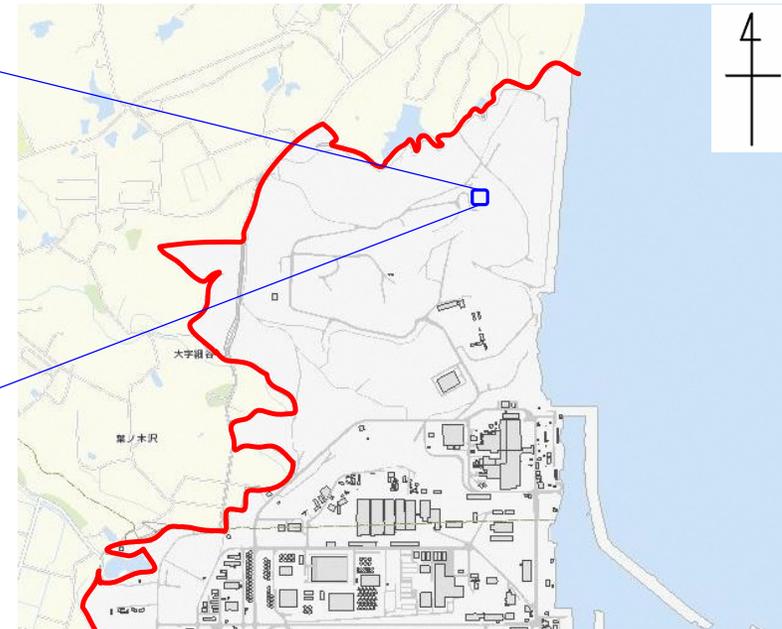


覆土式一時保管施設（エリアL）

覆土式一時保管施設（以下、一時保管エリアL）は、高線量（～30mSv/h）の金属やコンクリート等の瓦礫類を覆土遮へいを施した一時保管エリアです。



保管容量	約4,000m ³ /槽 4槽
受入目安 表面線量率	30mSv/h以下



一時保管エリアLの構造

一時保管エリアLは、外部からの遮水を担う遮水シートや覆土した第1層、大型土のうや覆土した第2層および瓦礫類の保管層の第3層からなる3層構造となっている。



固体廃棄物貯蔵庫第10棟

廃炉作業にて発生した瓦礫類（減容処理設備にて減容処理した金属及びコンクリートを含む）をコンテナに収納して段積みし、屋内に一時保管する施設です。

建屋の大きさ		縦	横	高さ	床面積	保管容量
	A棟・B棟	約 50m	約 90m	約 20m	2,593m ²	各 約 2万m ³ (参考) 20ftハーフハイトコンテナ※換算 各 1,458基
C棟	約 50m	約 180m	約 20m	5,951m ²	約 4万m ³ (参考) 20ftハーフハイトコンテナ※換算 3,348基	

建屋の状況	A棟：2024/7/24使用前検査 終了証受領、9/25よりコンテナを保管開始
	B棟：2024/10/15使用前検査 終了証受領、11/19よりコンテナを保管開始
	C棟：工事中（遮へい壁設置）、2025年3月 竣工予定



※ 20フィートハーフハイトコンテナ
標準的なコンテナの半分の高さのコンテナ



現場状況

